

事業名	雌牛改良促進事業(肉用牛広域後代検定推進事業) 畜産研究所HPへ		
予算区分	県単 (18,059千円、令達)	担 当	飼養技術研究室 生産性向上研究グループ 改良技術研究室 繁殖システム研究グループ 育種改良研究グループ
事業期間	継 続 (平成元年度～)	協力関係	県下5家畜保健衛生所
事業目的	優秀な種雄牛を造成するため、計画的な交配により岡山系雌牛の系統の固定化を進める一方で、多様な血統の優良雌牛を生産・保留し、もって和牛改良に資する。 また、候補種雄牛の産肉能力検定に必要な後代検定牛を生産するとともに、フィールドにおいて生産効率の高い農家を育成するため、優良繁殖雌牛から採取した受精卵を県下の生産者へ供給することにより、雌牛の改良増殖に資する。		
<p>○ 本年度事業のねらい 優良繁殖雌牛群への改良を進め、優良後継牛の生産・保留するとともに、優良な受精卵を供給することにより生産効率の高い農家を育成し、肉用牛の生産振興を図る。</p> <p>事業1 優良繁殖雌牛の生産・保留 (事業の内容) 研究所において育種能力の優れた牛群を造成するとともに、岡山系雌牛の系統の固定化を推進し、候補種雄牛、後代検定牛及び供卵牛の基礎となる繁殖雌牛を生産するため、育種価の高い(脂肪交雑 Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む)雌牛への人工授精及び該当牛から採取した受精卵を低育種価牛へ移植する。</p> <p>事業2 候補種雄牛の後代検定牛の生産 (事業の内容) 効率的に後代検定用の子牛の生産を行うため、繫留の繁殖雌牛に候補種雄牛を交配する。</p> <p>事業3 直接検定牛の生産 (事業の内容) 育種価の高い(脂肪交雑 Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む)雌牛からの受精卵を移植等により直接検定牛の生産を行う。</p> <p>事業4 岡山県下における優良繁殖雌牛群の造成(広域後代検定推進事業) (事業の内容) 県下において生産効率の高い農家を育成するため、フィールドで育種価の高い(脂肪交雑 Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む)雌牛から受精卵を採取し、事業1に供するとともに県下生産者へ供給する。</p> <p>事業5 広域後代検定推進事業により生産された産子の産子調査及び保留促進 (事業の内容) 本事業により生産された産子について、雌産子は県内保留、雄産子は候補種雄牛としての選抜を促進するため、県民局、家保及び全農岡山県本部等と連帯を図りながら産子調査を実施する。</p> <p>○ 前年度までの成果</p> <p>事業1 優良繁殖雌牛として10頭を生産・保留し、そのうち岡山系雌牛として保留したのは8頭であった。 (1) 保留優良繁殖雌牛(美津照重、平茂勝) 2頭 (2) 岡山系繁殖雌牛(北盛栄、沢茂勝、美咲鶴、義勝成、藤沢茂) 8頭</p> <p>事業2 後代検定牛として19頭を生産した。 (内訳: 美恵茂10頭、百合高9頭)</p> <p>事業3 直接検定牛として2頭生産した。 (内訳: 義勝成産子、藤沢茂産子)</p> <p>事業4 研究所繫留の雌牛に対して採卵を実施し正常卵494個(1回当たり5.1個)を採取した。また、県内農家繫留の雌牛10頭に対して採卵を実施し正常卵50個を採取した。 H28年度に配布した受精卵は604個であり、その移植成績は、新鮮卵移植で受胎率42.4%(86/203)、ダイレクト法凍結卵で受胎率37.5%(18/48)、ガラス化法凍結卵で受胎率47.8%(86/180)であった。</p> <p>事業5 これまで供用した供卵牛103頭から作出された受精卵産子の保留状況調査を実施した結果、263頭が繁殖雌牛として飼養されており、子牛登記された雌牛の33%が保留されていた(H28.6時点)。</p>			

○ 本年度事業計画

事業1 優良繁殖雌牛の生産・保留

〈時期〉 平成29年4月～平成30年3月

〈事業の内容〉

育種価の高い(脂肪交雑 A7%以上、期待育種価、母育種価を含む) 供卵牛からの受精卵の移植および供卵牛へ直接AIすることにより優良牛の生産を行う。また、岡山系雌牛へ計画的な交配を行い系統の固定化を図る。

- (1) 保留優良繁殖雌牛 (平茂勝、菊花国等) 6頭
- (2) 岡山系繁殖雌牛 (藤沢茂、新初英、義勝成、沢茂勝) 10頭

事業2 候補種雄牛の後代検定牛の生産

〈時期〉 平成29年4月～平成30年3月

〈事業の内容〉

繋養牛に候補種雄牛を交配し、場内において効率的に後代検定子牛の生産を行う。

- (1) 交配予定候補種雄牛 3頭 (種雄牛A、種雄牛B、種雄牛C)
- (2) 後代検定牛生産 24頭
- (3) 基準牛生産 14頭

事業3 直接検定牛の生産

〈時期〉 平成29年4月～平成30年3月

〈事業の内容〉

育種価の高い(脂肪交雑 A7%以上、期待育種価、母育種価を含む) 雌牛からの受精卵移植等により直接検定牛の生産を行う。

- (1) 直接検定牛 3頭

事業4 岡山県下における優良繁殖雌牛群の造成(広域後代検定推進事業)

〈時期〉 平成29年4月～平成30年3月

〈事業の内容〉

(1) 受精卵の生産

研究所繋留の雌牛から採卵を行うとともに、フィールドにおいても雌牛10頭から10回の採卵を行う。

(2) 受精卵の譲渡予定

フィールドにおいて候補種雄牛となる雄子牛5頭及び優良繁殖雌牛を生産するため、受精卵の供給(有償譲渡)を行う。

- ア 研究所産受精卵の譲渡予定数
 - 農家移植 340個
- イ フィールド産受精卵の譲渡予定数
 - 農家移植 60個

事業5 広域後代検定推進事業により生産された産子の産子調査及び保留促進

〈時期〉 平成29年4月～平成30年3月

〈事業の内容〉

- (1) 受胎調査及び産子調査の実施
- (2) 供卵牛から生産された子牛の供用別調査

年度スケジュール

